

高知新聞 2019. 11. 18 08:40

## 2019高知県知事選 志位氏、菅氏 与野党の対決激しく

無所属新人の一騎打ちとなっている高知県知事選（24日投開票）は17日、野党統一候補の共産党県委員、松本頭治氏（35）と、与党が推薦する元総務官僚、浜田省司氏（56）＝届け出順＝の支援にそれぞれ政党幹部が高知を訪れた。与野党の攻防が激しさを増した。



「国に物申す県政をつくろう」と訴える共産

党の志位和夫委員長（17日午後、高知市南はりまや町1丁目）  
共産党・志位氏 世直しの流れ起こす

松本氏の支援に高知を訪れた共産党の志位和夫委員長は高知市内で演説し「野党共闘で勝利して、日本の世直しの流れを高知から起こしていこう」と訴えた。

志位氏は、尾崎県政を「安倍政権直結で悪い点があるが、一番悪いのは子どもを学力テスト偏重の教育に追い込んだことだ」と批判。教員が多忙化し、子どもと向き合えなくなっているとして、県独自の学力テスト廃止を公約に掲げる松本氏への支持を求めた。

また首相が公費で主催する「桜を見る会」に、地元後援会員を招待していたことを「私物化だ」と非難。「消費税増税を押し付け、（日米貿易協定で）日本の農業を米国に売り渡そうとしている。自分の後援会のために血税を食い物にする政権に、審判を下そう」と述べた。

また知事選の構図を「市民と野党の統一候補」対「自公丸抱えの天下り官僚候補」と指摘した上で「国の言いなりにならず、高知から物申す県政をつくろう」と呼び掛けた。

この日は「桜を見る会」を迫及してきた共産党の田村智子副委員長も高知を訪れた。「税金の私物化、政治の私物化に黙っているわけにはいかない。市民と野党の共闘こそ、腐りきった政治を変える一番の力になる」と訴えた。国民民主党の泉健太政調会長も土佐市の演説会でマイクを握った。



「安倍政権で経済は大きく変わった」とアピール

する菅義偉官房長官（17日午後、高知市はりまや町1丁目）

自民党・菅氏 安倍政権で雇用創出

自民党の菅義偉官房長官は浜田氏の応援のため、高知市内2カ所で演説。「有効求人倍率は全国どこに行っても1倍。働くことのできる環境をつくることができた」と安倍政権下での雇用創出の成果を強調した。

菅氏は、来月で第2次安倍政権発足から7年になることに触れ、「社会保障を充実させていくためにも、経済最優先で取り組んできた。間違いなく良くなっている」と述べた。

「今、政権として一生懸命力を入れているのが、全世代型の社会保障制度の実現だ」と説明。10月からの消費税引き上げの財源を活用し、幼児教育・保育の無償化や低所得世帯の学生を対象にした高等教育無償化などを推進すると力を込めた。

また、医療や介護、生活支援などのサービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築に意欲を示し、「全国一律ではなく、地方の実情にあったシステムをつくる時に必要なのは、行政手腕の確かな県知事だ」と訴え、浜田氏の支持を呼び掛けた。（知事選取材班）

しんぶん赤旗 2019年11月18日（月）

## 高知知事選あと1週間 松本知事の誕生で「誰一人取り残さない県政」を 志位委員長訴え

高知県知事選で24日投票前のラストサンデーとなった17日、猛迫している市民と野党の統一候補・松本けんじ候補の勝利を必ず勝ち取ろうと、日本共産党の志位和夫委員長は高知市、香美市で訴えました。志位氏が、「自由民権運動発祥の地・高知から、『誰一人取り残さない県政』『国言いなりでなく、高知からモノ申す県政』の実現を訴える松本けんじさんを知事に押し上げよう」と力を込め、各地で詰めかけた聴衆から盛大な拍手がわき起こりました。



（写真）志位和夫委員長の訴えを聞く人たち＝17日、高知市



（写真）声援にこたえる（左から）武内、松本、志位、広田の各氏ら＝17日、

高知県香美市

知事選では、野党各党の国会議員が連日、松本候補の応援に入り、この日は志位氏をはじめ多くの野党国会議員が支援。一方、相手候補には菅義偉官房長官が応援に入り、激しいたたかいです。

マイクを握った松本候補は「高知の人口減少・流出の根っこには国の政治がある。国に対し県民の立場でモノがいえる県政が必要だ」と指摘。「地域の産業をつくり、守って根付けば人が住めるようになる。県の努力と国の政治を変えることで、『誰一人取り残さない県政』をつくっていきましょう」と語りました。

立憲民主党の武内則男衆院議員が司会を務め、選対本部長の広田一衆院議員（社会保障を立て直す国民会議）が訴え。女子大生がマイクを握りました。

志位氏は、松本候補を支援する野党各党、市民に心からの感謝を述べ、「力をあわせて勝利のために総力をあげます」と表明。選挙構図について、「市民と野党の統一候補・松本けんじさんと、自民・公明丸抱えの天下り官僚候補の一騎打ち」だと指摘。高知県が自由民権運動発祥の地であることに触れ、松本候補は「土佐の自由民権の精神を現代に引き継ぐ政治家です」と紹介し、「力を合わせて、松本さんを知事に押し上げよう」と呼びかけました。

松本候補が、教員の数を増やして、県版学力テストをなくし、教員が子どもに向き合えるようにすることを掲げていると紹介。現知事の下で全国学力テストに加え、県版学力テストが実施され、授業そっちのけで「過去問」をやらせ、先生が大変忙しい状況に追い込まれる中で、子どもたちに向き合う時間もなくなり、不登校が増えていると指摘。「テスト漬けで本当の学力は生まれません。子どもたちに物事がわかる喜びを伝え、探究心を育てる仕事が教育ではないでしょうか。その中からこそ本当の学力が育つのではないのでしょうか。そういう本当の教育改革を、松本けんじ知事にやってもらおう」と訴えました。

相手候補は「行政経験」を売り物にし、「行政経験のない方には県政のかじ取りはまかせられない」と攻撃しています。

志位氏は、「それならば聞きたい。いったいどんな『行政経験』をお持ちか」とのべ、相手候補が松井一郎前大阪府知事の下で副知事を務め、大阪で国民健康保険料の大幅値上げを進めてきたと告発。「こんな『行政経験』など願ひ下げです。松本けんじ知事で、子どもの均等割をなくし、国保料の大幅値下げを実現しましょう」と語りました。

志位氏は、「今度の選挙は、国の政治にも大きな影響を与える」と強調し、安倍晋三首相が、「桜を見る会」を安倍後援会の行事として私物化し、国民の血税を使って買収を行っていた重大疑惑が問われていると告発。「もうお引き取り願おうではありませんか。野党共闘でとりくんだ埼玉、岩手の知事選の二つとも勝ちました。高知でも必ず勝ちましょう。松本知事を誕生させ、自由民権運動の発祥の地・高知から『日本の世直し』ののろしをあげていきましょう」と力を込めました。

しんぶん赤旗 2019年11月18日(月)

知事選 松本候補駆ける 高知の希望はみんなの参加



(写真) 聴衆と握手

手する松本知事候補＝17日、高知市

高知県知事選（24日投票）最後の日曜日となった17日、野党統一の松本けんじ候補は高知市などを駆け、「だれ一人取り残さない県政は、あなたの参加でつくることができる。あなたが、この高知の希望です」と訴えました。

7日の告示以降、県内を一巡し、かすれ声の松本候補は、「私も一緒に頑張る」と多くの人から激励され大きな力をもらってきたと強調。「一人ひとりが自分の願いを掲げてたたかう選挙になりつつあると感じています。この流れを高知でさらに大きくし、みんなで一緒に“変えた”と言える選挙にしよう」と呼びかけました。

県議会会派「県民の会」の坂本茂雄県議が同行し、訴えました。

候補者カーには車や沿道から声援が相次ぎました。あちこちで両手を大きく振っての激励が寄せられ、家から出てきて松本候補の手を握りしめる女性、バイクに乗った若者が手を振り、演説場所にきた女性は「松本候補をテレビで見て心に響いた。本人に会いたい」と話しました。

自民党支持だという男性（70）はスーパー前で演説を聞き「いいことを言いました。県版学力テストは廃止した方がいい。これから高知を変えるのは若い者。今回は1票入れようと思う」と語りました。

しんぶん赤旗 2019年11月18日(月)

高知県知事選 志位委員長の訴え

高知県知事選で、松本けんじ候補の勝利をめざして17日、高知市・香美市で行った日本共産党の志位和夫委員長の訴えは次の通りです。



(写真) 訴える志位和夫委員長＝17日、高知市

高知市

高知のみなさん、こんにちは。日本共産党の志位和夫でございます。（拍手）

まず私は、松本けんじさんを支援してくださっている野党各党のみなさん、すべての市民のみなさんに心からのお礼を申し上げるとともに、勝利のために共産党も党の総力をあげてがんばり抜く決意を申し上げたいと思います。(拍手)  
土佐の自由民権の精神を現代に引き継ぐ政治家——松本けんじさんを知事におしあげよう

今度の選挙の対決の構図は、わかりやすいですよ。

市民と野党の統一候補—松本けんじさんVS自民・公明丸抱えの天下り官僚候補の一騎打ちです。

高知県は、自由民権運動発祥の地です。こちらにうかがいますと、植木枝盛の「自由は土佐の山間より出づ」。この言葉を思い出します。みなさん。「誰一人取り残さない県政をつくらう」「国の言いなりでなく、高知からモノ申す県政をつくらう」と訴えている松本けんじさんこそ、土佐の自由民権の精神を現代に引き継ぐ政治家ではないでしょうか(拍手)。政党・政派の違いをこえて、みんなで力を合わせて、必ず知事に押し上げようではありませんか。(拍手)

教員増やし、県版学力テストをやめ、わかる喜びを伝える教育への改革を

選挙戦をつうじて、県政をめぐる争点をはっきり浮かび上がってきました。

その一つは、教育の問題です。

松本けんじさんは、高知新聞のインタビューで、「知事になれば任期4年間で必ず成し遂げる公約の一つあげてください」との問いに、「先生の数を増やす。県版学力テストをやめて、先生が子どもに向き合えるようにする」。こう言っていますが、これはみなさんの切実な願いではないでしょうか。(拍手)

私は、尾崎知事が、安倍政権直結で進めてきた政治の中で一番悪いものが、子どもを「学力テスト」偏重の教育に追い込んだことにあると思います。

いま全国学力テストは、小学校6年生と中学校3年生で行われていますが、高知県は中学校1年生、中学校2年生でも県版学力テストをやっている。小6から中3までは毎年テスト漬けになっているのです。

学力テストの点数を上げようと、授業をそっこのけで「過去問」——過去の問題集を徹底的にやらせているとのこと。

「過去問」をやらせている学校は、全国平均が44%に対して、高知は96%になっているのです。そのことによって現場がくたびれてしまい、先生がたいへんに忙しくなって子どもたちに向き合う時間がない。不登校の子どもさんが増えているという実態があります。

みなさん、こんなやり方をこのまま続けていいでしょうか。相手候補は、「今まで以上にやっていきたい」と語っています。とんでもないことではありませんか。(「そうだ」の声、拍手)

子どもをテスト漬けにして本当の学力が育つでしょうか。私は、決して育たないと思います。子どもたち一人ひとりに物事がわかる喜びを伝える、事物に対する探究心を育てる、これが本当の教育の仕事ではないでしょうか(拍手)。その中からこそ本当の学力が育っていくのではないのでしょうか。そうい

う本当の教育改革を、松本けんじさんにやってもらおうではありませんか。(拍手)

相手候補が自慢する「行政経験」とは国保料大幅値上げ——松本知事で値下げしよう

みなさん、この選挙で、もう一つ議論になっているのが、「行政経験」です。

相手候補は、「行政経験がある」と、さかんに自慢しています。「2年前から今年の夏まで大阪府の松井前知事の下で副知事をつとめた」と語り、「行政経験のない方に県政のかじ取りはまかせられない」と、松本さんの攻撃をしています。ならば私は、聞きたいと思うんです。「一体、あなたが自慢する『行政経験』とはなんですか」と。

相手候補が大阪でやってきことを調べまして驚きました。国民健康保険料の大幅値上げをやってきた。

いま安倍政権は国保の都道府県化を全国の自治体に押し付けています。国保の都道府県化とは、市町村がやっている値上げを抑えるための繰り入れや減免制度をやめさせて、連続大幅値上げを押し付けるという冷酷な政策なのですが、これを先駆けてやったのが大阪であり、その中心だったのが相手候補だったのです。

大阪では、この2年間で、府内の98%の市町村が国保料の値上げをやっています。年収400万円・4人家族で国保料が45万円を超える自治体が2倍になり、半分近くの自治体を占めるところまで広がりました。全国最悪の国保値上げをやってきた。こんな「行政経験」など願ひ下げではないでしょうか。(拍手)

しかも相手候補は、今年5月、財務省で開かれた財政制度等審議会の地方公聴会に参考人として出席し、“大阪でやったことを全国でもやるべきだ”とまで言っている。大阪の国保値上げを高知にもってくるなど、迷惑千万といわなければなりません。(拍手)

松本けんじさんは、国保料の子どもの均等割を廃止することを公約に掲げています。均等割というのは、赤ちゃんが1人生まれると国保料が約3万円上がる、2人生まれると約6万円上がる(高知市の場合)。出産祝いを出すならわかりますが、「出産ペナルティー」で保険料をあげるというのは、間違った政治ではないでしょうか。(拍手)

松本けんじさんに、知事になってもらって、子どもの均等割をなくして、国保料の大幅値下げを実現していかうではありませんか。(拍手)

埼玉、岩手に続き高知でも勝利し、「日本の世直し」ののろしをあげよう

最後に、今度の選挙は、国の政治にも大きな影響をあたえます。

いま「桜を見る会」が大問題になっています。安倍首相が自分の後援会の行事として私物化していた、国民の血税を使って買収を行っていたのではないか、という重大疑惑です。徹底的に野党共闘で追及していきたいと考えています。(拍手)

こんな不景気のときに消費税10%を押し付け、トランプ

大統領言いなりに日本農業を米国に売り渡そうとしている、  
そういう政権が、自分の後援会のために血税を食い物にする。  
もうお引き取り願おうではありませんか。(「そうだ」の声、拍手)

この間、知事選は野党の連戦連勝です。野党共闘でとりくんだ  
埼玉知事選、岩手知事選の二つとも勝ちました。続いて高知  
で勝利すれば、日本の政治に大きな衝撃が走ることは間違い  
ありません。

自由民権運動の発祥の地・高知から、松本けんじ知事誕生で、  
「日本の世直し」ののろしをあげようではありませんか。(大  
きな拍手)

しんぶん赤旗 2019年11月18日(月)

### 野党共闘 高知変える 知事選 田村副委員長と各党議員



(写真) 松本知事

候補押し上げへ訴える田村氏(中央)と(右から)高木、松田、  
(1人おいて)高井の各氏＝17日、高知市

24日投票の高知県知事選で、日本共産党の田村智子副委員  
長・参院議員は17日、野党統一の松本けんじ候補を何ともし  
ても知事に押し上げようと、野党国会議員とともに高知市東  
部を駆け巡りました。行く先々で手を振って応える人の姿が  
ありました。

高須新町一丁目交差点では県議会会派「県民の会」の田所裕  
介県議が司会。田村氏は、安倍晋三首相主催の「桜を見る会」  
の追及を契機に、野党が一致団結してたたかい続け、国民が怒  
りを巻き起こしていると指摘。「市民と野党の共闘の力こそ、  
腐りきった政治を変える一番の力です。『高知のことは高知で  
決める』『国にも言う』松本さんを押し上げてほしい」と呼  
びかけました。

立憲民主党の高井崇志、松田功、高木錬太郎の各衆院議員は  
「野党共闘で松本候補に知事を担わせてほしい」(高井)「安倍  
政権中心の政治では地域創生はできない」(松田)「心から高知  
を愛し、高知のために働く松本候補を押し上げて」(高木)と  
訴えました。

夫婦で参加した市内の医師(65)は「ここまで本気の共闘  
でたたかう選挙は記憶にありません。あまりにもひどい今の  
政治を松本さんで変えたい」と話しました。